



「自立に向かって成長する子ども」を育てるために

岡山市小学校長会 会長

岡山市立芳泉小学校 校長 平井 秀尚

先日、ファジアーノ岡山の木村正明オーナーのお話、関西大学の瀬島吉裕先生のお話を伺う機会がありました。お二人ともお話の冒頭で、小学校時代のことをお話しされる中で、岡崎明宏先生のお名前を挙げて、「岡崎明宏先生のおかげで今の私があるのだ」とおっしゃっておられました。

私も若い頃、岡崎校長先生のもとで勤務したことがあります。岡崎校長先生は私たち若者が若気の至りで直言したことをとことん受け止められ、ご自分で熟考されたうえで実践されておられましたから、私たちからの信頼は抜群。私たちは、「私たち自らが考え、言ったことに沿って行動したのだ」と思って日々の学校生活を過ごしていたように思います。

今回いただいたテーマは、「自立に向かって成長する子ども」です。「自立に向かって成長する子ども」とは、いったいどのような子どものことでしょうか。変化のスピードが加速度的に増している昨今、すべてのことに対応できる子どもに育てることが難しい時代に入ってきていると考えています。このような時代だからこそ、将来を生き抜くために「自ら考え判断し行動できる人」になってほしいと私は考えています。

「自ら考え判断し行動できる子ども」を育てるのは私たちです。では、私たちはどのような学校職員であればいいのでしょうか。このヒントが、冒頭に述べた岡崎先生の行動に秘められていると思います。木村オーナーは「僕が間違っていることとしていた時、『そんな君でいいのか』と声をかけてくれた」、瀬島先生は「僕を理科好きにしてくれたのは、先生の理科の授業が楽しかったからだ」と言われています。私たちが直言した時も黙って聞いてくださいました。この3つのエピソードから、岡崎先生自身が直接思いを語り、論ずるのではなく、私たち自らが「考え判断し行動できる」きっかけを作ってくれたのだということが分かります。

私自身を振り返ってみると、学級担任の頃は自分の都合で学級経営をし、自分の思いや考えを子どもたちに押し付けてきたことが多かったような気がします。「自ら考え判断し行動できる子どもを育てるには、私たち自身が自ら考え判断し行動できる大人でなくては」と、最近になって思い、実践しているつもりです。しかし、いつも実践できるものではありません。自分自身が困ったり迷ったりしたとき、「どうしましょうか」と他人に判断を委ねた方が楽だからです。

数年後の将来を見通すことが難しいと言われる昨今、私たちが今できることは「自ら考え判断し行動できる大人」になることです。考えが浅はかだったり、判断を間違ったりすることもあるでしょう。こうした試行錯誤を私たちが子どもたちに見せることで、子どもたちも「自分で考えて決めたことに挑戦してよかった」と思えるようになるのではないのでしょうか。

最近、岡崎先生に言われることがあります。「『校長は前に前に出るもんじゃない。椅子に座っとけ』と若造のお前に言われたのを思い出す」と。言い換えると「俺らが自ら考え判断し行動するのだから、岡崎校長先生はそれを見守っとけ」ということ。そんなこと言いましたっけ、岡崎せんせ？

GIGA スクール構想の推進

～ ICTの日常的な活用に向けての取組 ～

情報教育推進室

ICTの日常的な活用に向けて

ICT を日常的に活用している今日の社会生活の中で、子ども達が将来、社会で活躍するために必要な資質・能力を身に付けていくには、学校の生活や学習においても日常的に活用していくことが求められます。さらに、ICTの日常的な活用を進めていくことは、働き方改革にもつながります。

ここでは、学校全体におけるICTの日常的な活用を推進するための情報教育推進室の取組を紹介します。

<ICT活用研修講座の充実>



教職員が自らの課題に対応した研修を行うことができるよう、ICT活用研修講座【基礎】【応用】【発展】、情報モラル教育研修講座(新規)を行いました。研修を通して、ICT活用指導力の向上を図り、授業での効果的な活用につなげてほしいと考えています。

<ICT環境の整備>

子ども達が、1人1台端末を「令和の文房具」として教室以外の場所でも主体的に活用できるように、学校に配付している常時接続可能なモバイルWi-Fiルータを増台したり、ネットワーク回線を強化したりしました。また、小・中学校の図書館にWi-Fi環境を整備しました。



授業

生活

日常化

<端末持ち帰りの推進>



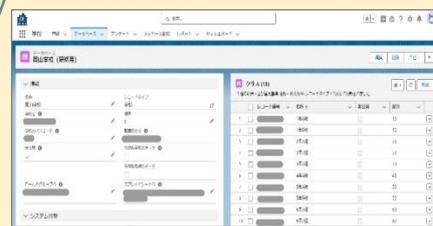
岡山市情報教育サイトより

家庭学習の充実や情報活用能力の育成に向けて、端末活用の場を平時の家庭にも拡大しています。あらゆる場面で、子ども達の主体的な学びを広げたり、基礎学力の定着を図ったりしていきたいと考えています。

家庭

校務

<保護者連絡ツールの導入>



子ども達と向き合う時間を確保できるよう、今年度より保護者連絡ツールを導入しました。

担任が教室にいながら端末を利用して欠席等の連絡を確認したり、保護者へ配付物を職員室からデータで送付したりすることができるようにしました。

困ったときは…

<サポート体制の充実>

◎GIGAスクール運営支援センターの開設

端末等のICT機器やネットワークの障害等に関するトラブルに対応するため、GIGAスクール運営支援センターを開設しています。受付フォームで、24時間365日受付可能です。(※電話窓口は、平日9:00~18:00)

ICTに関する各種連絡先や端末活用に関する情報については、[岡山市情報教育サイト](#)をご覧ください。

◎岡山市情報教育サイト「明日から、かわら版!」

明日から、かわら版!

岡山市教職員を対象に、端末活用事例集や教材boxなど、端末活用の参考になる情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

